【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】令和4年9月13日(2022.9.13)

【国際公開番号】WO2021/125135
【出願番号】特願2021-565571(P2021-565571)
【国際特許分類】
Ｃ０８Ｊ　5/18(2006.01)
Ｂ３２Ｂ 27/20(2006.01)
Ｂ３２Ｂ 27/32(2006.01)
Ｂ４１Ｍ　5/26(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０８Ｊ　5/18　　ＣＥＳ
Ｂ３２Ｂ 27/20　　Ａ
Ｂ３２Ｂ 27/32　　Ｚ
Ｂ４１Ｍ　5/26

【手続補正書】
【提出日】令和4年8月31日(2022.8.31)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
レーザー照射による印字が可能な層を少なくとも１層有しており、該レーザー照射による印字が可能な層は延伸フィルム層であり、
フィルム全体層の中にレーザー照射による印字を可能とする顔料が１００ｐｐｍ以上３０００ｐｐｍ以下で含まれており、ヘイズが１％以上３０％以下であり、長手方向または幅方向いずれか一方向における厚み斑が０．１％以上２５％以下であることを特徴とするポリオレフィン系フィルム。
【請求項２】
レーザー照射による印字を可能とする顔料が金属を含有し、該金属として、ビスマス、ガドリニウム、ネオジム、チタン、アンチモン、スズ、アルミニウムいずれかの金属単体または金属酸化物のいずれかが少なくとも１種類は含まれていることを特徴とする請求項１に記載のポリオレフィン系フィルム。
【請求項３】
レーザー照射による印字が可能な層の厚みが５μｍ以上１００μｍ以下であることを特徴とする請求項１または２いずれかに記載のポリオレフィン系フィルム。
【請求項４】
カラーＬ＊値が９０以上９８以下であることを特徴とする請求項１～３いずれかに記載のポリオレフィン系フィルム。
【請求項５】
レーザー照射による印字が可能な層に隣接する少なくとも一方の層に、レーザー照射で印字されない層を設けていることを特徴とする請求項１～４いずれかに記載のポリオレフィン系フィルム。
【請求項６】
長手方向または幅方向いずれか一方において、１４０℃熱風に３０分暴露した後の熱収縮率が－０．５％以上１０％以下であることを特徴とする請求項１～５いずれかに記載の

ポリオレフィン系フィルム。
【請求項７】
請求項１～６いずれかのポリオレフィン系フィルムを用いている蓋材やラベルを含む包装体。
【請求項８】
少なくとも一部分に印字されていることを特徴とする請求項７に記載の包装体。